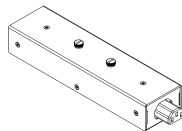


Force bar EP

バーチャル・リアリティ・アース



バーチャル・リアリティ・アース 操作マニュアル

この度は KOJO TECHNOLOGY 製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。末永くご使用いただくためにも、ご使用前にこの操作マニュアルをご確認ください。

本製品について

オーディオシステムのノイズ対策のひとつとしてあるのが接地（大地アース）です。KOJO TECHNOLOGY が開発したバーチャル・リアリティ・アース：Force barEPは、「遠くのアースより近頃のアース」。オーディオ機材直近で Force barEP に接地することで、立地条件の厳しい場所にあっても、まるで大地アースされたような感覚でオーディオを楽しむことが可能になります。
※漏電対策としての使用はできません。

注意事項

破損や故障、火災の原因となりますので、下記事項は良く守ってお使いください。

- ・屋内用です。屋外での使用はお止めください。
- ・定格範囲外でのご使用はしないでください。
- ・落下させたりぶつけたりなどの衝撃を与えないでください。

付属品



RCA プラグ - φ4 丸端子
ケーブル / 2m 1本



φ4 丸端子 - φ4 丸端子
ケーブル / 2m 1本

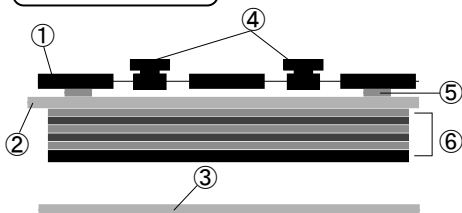


保証書



マニュアル
(本書)

内部構造



Force barEP 内部構造（断面図）

- ① トップカバー：ステンレス
- ② サブシャーシ：アルミ
- ③ ボトムシャーシ：アルミ
- ④ 仮想アース端子
- ⑤ メカニカルアイソレーション機構
- ⑥ 仮想アース部
銅 / 黄銅 / 銅 / 黄銅 / 銅 / スチール（積層構造）

仮想アース部は様々な種類の金属を積層し、表面積を多く確保することで導体の表皮効果を抑え、高周波ノイズを抑制するように構成されています。
また低周波ノイズにおいても、必要十分な導体断面積を持って低インピーダンス化を図り抑制します。

※インレット - 連結コンセント間の内部配線におけるアース線と仮想アース部（装置外筐含む）は、分離されており電氣的接続はありません。インレット - 連結コンセント間はスルー配線となっています。

使用方法

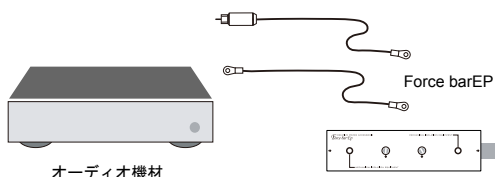
<使用例 1>

オーディオ機材外筐（シャーシ）又は RCA（空）端子と Force barEP の接続

CD プレーヤ、プリアンプ等のシャーシ又は RCA（空）端子と Force barEP の仮想アース端子を接続します。

・シャーシ接続には付属のφ4 丸端子 -φ4 丸端子ケーブルが便利です。

・RCA コネクタ空端子接続には付属の PCA プラグ-φ4 丸端子ケーブルが便利です。

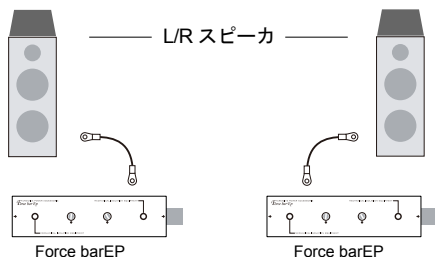


<使用例 2>

スピーカ（-）マイナス端子と Force barEP の接続

スピーカの（-）マイナス端子と Force barEP の仮想アース端子を接続します。接続には付属のφ4 丸端子 -φ4 丸端子ケーブルが便利です。

※Force barEP 1 台に対し、L/R スピーカを一緒に接続しないでください。システム構成によりオーディオ機器を損傷する恐れがあります。



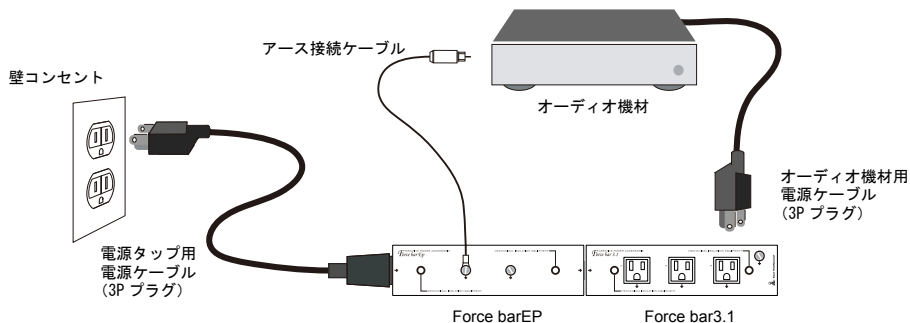
オーディオ機器と Force barEP は基本的に 1 対 1 での接続をお勧め致します。また、Force barEP の増設は、それぞれの仮想アース端子同士を接続することで可能です。これらは一層の音質効果が期待できます。

<他の Force bar シリーズとの接続について>

インレットに電源ケーブルを接続することで、連結コンセントに接続される他の Force bar シリーズに電源供給することが可能です。

また、インレット側に他の Force bar シリーズを接続することも可能です。

なお、Force barEP 内部配線はスルー配線されており、仮想アース部（装置外筐含む）と電氣的に接続されていません。



Force barEP の仮想アース部（装置外筐）とは内部アース線が分離されていることにより、上記の様な接続をした場合においてもアースループは構成されません。

KK057-Z-01

Kojo Technology Co.,Ltd.